国書館だより

NO. 267 2020年8月号 (2020年8月1日発行) はつかいち市民図書館 電話(0829)20-0333 廿日市市下平良1-11-1



ホームページ http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/

泣いたり、ぐずったりしてしまった赤ちゃんを温かく見守る

赤ちゃんタイム

申し込みも 参加費も いりません

ជាស្រុង ជនសង្គិតនា ជនសង្គិតនា ក្នុងសង្គិតនា ជនសង្គិតនា

小さなお子さん連れの方にも、気兼ねなく図書館を利用していただけるよう「赤ちゃんタイム」を設けます。

この時間帯は、館内全体が通常より、にぎやかになってしまうかもしれません。 図書館での過ごし方について、小さなお子さんが少しずつ理解していく機会になればと思います。温かく見守っていただければ幸いです。

◇皆様のご理解とご協力をお願いします◇

●いつから? 8月7日(金)から 毎月第1・3金曜日10時~12時まで

乳幼児向けの「ちいさいこのためのおはなし会」の時間を含む2時間です

●とこで? はつかいち市民図書館内で



* 今月の展示 *

「《中央展示》 『平和への祈り』

8月6日、9日、15日…。8月は平和について考えることが多い月です。

戦争の悲惨さを再認識し、平和な世の中の実現を 願って私たちは何をすべきか、今一度考えてみま せんか? STOP自殺

《企画展示》

『消えてしまいたい

アナタへのこころの処方箋』

誰にも言えずにひとりで悩みを抱え込んでいま せんか?

話すことが難しければ、本が傷ついたあなたの心に手を差し伸べてくれるかもしれません。

展示期間:7月23日(木)~8月26日(水)

8月11日(火)の図書サービスの一部休止について

8月11日(火)は、空調設備の修繕のため、書架への立ち入り、及び館内での閲覧ができません。

大変申し訳ございませんが、利用者の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

≪利用できるサービス≫

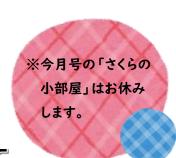
- ・予約された資料の貸出
- ・返却 ・資料の予約
- ・利用カードの発行 ・複写
- ・レファレンスサービス
- ※レファレンスサービスについては、受付はいたしますが、館内の書架に入ることができないため、資料の提供は後日となります。ご了承ください。

≪利用できないサービス≫

・書架への立ち入り (書架の本を選んで貸出)

・館内資料(新聞・雑誌、視聴覚資料を

含む) の閲覧





貸出数の上限の変更について

5月18日(月)から、コロナウイルスの感染防止対策として、貸出冊数を一時的に増やしていましたが、8月1日(土)から正式に、

◇ 図書(雑誌を含む) 【 0 冊 ◇ 視聴覚資料(CD・DVD等) 5点

になります。どうぞご利用ください。

新しく入った本(一般書)

図書館には1カ月に約500冊の新刊が入ります。その一部を紹介します。

『ぜんぶ、すてれば』中野善壽/著 ディスカヴァー・トゥエンティワン 159.4/ナ

『**戦国武将の叡智**』小和田哲男/著 中央公論新社 S210.4/t

『**介護を左右する頼れるケアマネ問題なケアマネ』**相沢光一/著 河出書房新社 369.1/7

『認知症を予防する食事』川口美喜子/著 亜紀書房 493.7/カ

『スキマ体操大全』金森晃平/著 KADOKAWA 498.3/カ

『ほっこりかわいいハウスのキルト』加藤礼子/著 ブティック社 594.9/カ

『一日の会話のすべてを英語にしてみる』曽根田憲三/著 ベレ出版 837.8/ソ

『**夏井いつきの日々是「肯」日**』夏井いつき/俳句・文 清流出版 911.3/t

『その手を離すのは、私』クレア・マッキントッシュ/著 高橋尚子/訳 小学館 B933/マ



『あったらいいな、こんな車いす』

斎藤多加子/著 汐文社 369/サ

車いすは、移動用の道具ですが、スポーツ用のものやベッドに変身して生活を助ける車いすもあります。また、階段をのぼる車いすも作られるなど進化しています。でもまだ、高い場所の物が取れない、重たいドアが開けにくいなど不便なこともあります。

この本は「楽しく知ろうバリアフリーからだをたすける道具」シリーズの「義足」「義手」に続く3冊目です。 <ほかの人のことを考えるようになったとき、べんりな道具も、気持ちのいい社会も「あったらいいな」から 「ある」になるでしょう>。

夏休みに読んでみよう 図書館のおすすめの本

はつかいち市民図書館の児童文学の本に貼ってある3種類のピンクシールのヒミツを知っていますか? ピンクのシールが貼ってある本は、子どもの頃にぜひ読んでほしいおすすめの本です。

今回は図書館司書やブックトークのボランティアが読んで楽しんだ本を、3種類のシールの中から1冊ずつ紹介します。

ここからスタート! ようこそブック

絵本からよみものへの橋渡しとなる作品です。

『ベーロチカとタマーロチカのおはなし』

L・パンテレーエフ/さく 内田莉莎子/やく 浜田洋子/え 福音館書店 983/N

お母さんの言うことを聞かない女の子、ベーロチカ とタマーロチカ。

ある夏の日、「水あそびはけっしてしません」と、お母さんとやくそくして子ども2人だけで海に行くことに。海岸に着いて、はじめは砂あそびをしていたベーロチカとタマーロチカですが、やっぱりお母さんとのやくそくを守りません。はだかになって海に入って水あそびをした間に、木の下に置いていた服がぬすまれてしまい…。(「海へいく」より)

他にも「森へいく」「おおそうじ」が収録された、ロシアの幼年童話。

ステップアップ!!

ともだちブック

個性豊かな登場人物と、いろいろな世界を 味わえる作品です。

『黒ねこの王子カーボネル』

バーバラ・スレイ/作 山本まつよ/訳 岩波書店 933/J

お母さんと 2 人ぐらしの 10 歳の女の子 ロージーは、夏休みにおそうじの仕事でお金 をかせいで、お母さんをびっくりさせようと 考えます。そこで、市場へ道具を買いにいっ たところ、なんと魔女のほうきと黒ネコを手 にいれます。そしてそのネコは、ほんとうは 魔女の魔法でどれいになってしまったネコ の王子だったのです!

ジャンプ!!! チャレンジブック 物語を読みなれた小学上級~中・高校生向けの作品です。

『元気なモファットきょうだい』エレナー・エスティス/作 渡辺茂男/訳 岩波書店 933/I 1 服の仕立てで生計を立てている未亡人のママと、4人のきょうだいのモファットー家。次女のジェーンは、住んでいる黄色い家が大好きで、家の前の杭に座り、飽きることなく通りを眺めています。ある日、その家に「売り家」の札が張られ、きょうだいは不安になりますが……。

アメリカの田舎町が舞台の物語は、ジェーンと末っ子のルーファスを中心に日常が語られ、子どもの感性、明るさ、思いやりやユーモアに溢れています。4部作の1作目。

(文:ブックトークの会ピッピ<ブックトークボランティア>)

ぬいぐるみのおとまり会

はつかいち市民図書館でぬいぐるみのおとまり会を行います。

図書館の仕事を体験する様子を写真にとって、カードにしてプレゼント! もしかしたらぬいぐるみたちが持ち主のみんなにおすすめの本を選んでくれる

かも…?

申込期間:8月10日(月)~8月23日(日)

申込方法:来館または電話で (定員になり次第、締め切ります)

※申し込み後、8月23日(日)までにぬいぐるみを図書館までお持ちください。

お迎え日:8月25日(火)~

※お迎えの日にぬいぐるみが選んでくれた本を3冊貸し出します。10冊お借りになっている

場合、3冊分のワクを空けるようご協力ください。

はつかいち市民図書館 合(0829) 20-0333



8月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7 ©	8 ☆
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21 ©	22 ☆
23	24	25	26	27 休館	28	29
30	31					



◎ ちいさいこのためのおはなし会

【対象】乳幼児

【時間】1回目 10時30分~ 2回目 11時~

☆ おはなし会

【対象】幼児~小学校低学年 【時間】11時~

※相談カウンターで**整理券**を配布しています。 配布時間が決まっていますので、ご注意くだ さい。

※場所は図書館会議室です。

ハラハラ・ドキドキ!背すじもこおる?! おはなしたまてばこ 8月2日(日)16時~17時 さくらぴあリハーサル室 ※要申込